

## ライセンスを活かし共生を。 ～保育士、看護師共に助け合い～

医療法人 親和会 / 大分市中判田1428の1

医療法人親和会(衛藤病院・えとう内科・親和園・ポッポ保育園)では、施設内に保育園を作り働く女性の環境づくりを18年前より取り組まれています。  
法人専務理事の衛藤禮子さん、親和会本部長の佐藤聖次さん、保育長の後藤ひとみさん、看護師の奈良左枝さんにお話を伺いました。



### 施設内に保育園を作られた動機は？

18年前、病院の看護師が不足し、看護師を集めようと保育園を作りました。最初は1～2名の子どもからでした。何もわからず手探りの状態の中、お母さんや地域の方に教えられ、支えられながらやってきました。当初は深夜まで預かっていましたが、今は20時、残業が終わるまで預かっています。

### 保育の内容について

保育年齢は3ヶ月～4歳まで(例

外あり)基本的な生活習慣の自立を目標にしています。保育時間の原則は7時～19時で、親の勤務時間の早出、残業または遅出にわかれています。職員勤務割りに対応して決めています。日曜、祝祭日も保育しています。年間行事は遠足・手振り等や親和園・内科病院の各種行事にも参加しています。おやつは手作りです。給食は火、木、土曜日で後は弁当持参です。毎日連絡帳で保護者と連絡をとりあっています。

### 保育長の後藤先生が心掛けていることは？

子ども達が、明るく楽しく保育園にこれるように、ケガをさ

せない様に気を付けています。親の仕事場と保育園が近い分、子どもの泣き声が気になるお母さんもいると思い、連絡帳を使い詳しく連絡を取りあって、お母さん方が安心して仕事ができるように心がけています。また園長先生が病院と保育園のパイプ役として心配りをしてくださるのでとても安心して保育が出来ます。

### 奈良さんは看護師として動めていかがですか？

私は、やりがいのある、やりたい仕事が出ています。子どもは3人います。2歳の子を保育園に預けています。仕事が3交代で不規則なのは主人には最初から理解してもらっています。家庭の協力が無いと出来ない仕事です。家事の分担などなく、早く帰った方が自分で買い物いき、食事の支度をします。何もしないで私の帰りを待つということはないです。色々な面で恵まれていると思います。

### 保育園の今後についてのお考えは？

認可の基準にはまだまだですが、保育園も段々充実し、安定しています。職業においては、女性がしたいことの出来る、自己主張できる環境を作っておけることが必要だと思います。保育士も看護師もお互いに力を出し合い、助け合えば、法人は人材を確保でき、勤務する人は安心して働けます。その役割を担う保育園です。理事長の「明るく、温かく、愛情あるそして安全に」という方針、これは仕事場だけでなく、家庭でもそうだよという普遍的な考え方です。その方針に基づいて法人の力を高めていくためにも保育園の必要性は今後も大きいです。

### 男女共同参画社会について



法人専務理事  
衛藤禮子さん

男女平等と言いますが、解決されていない問題は多いと思います。女性の働きやすい環境を作ることが大切と考えます。



親和会本部長  
佐藤聖次さん

女性の持ち分、男性の持ち分がある。同等に出来るものはして、女性の方が良い、男性の方が良いものはそれぞれ区別はしていきたい。



保育長  
後藤ひとみさん

男性の協力なしで仕事をするのは困難です。ただ、全部お任せでは負担になるので、話し合い助け合ってやっていかねばならないと思います。



看護師  
奈良左枝さん

看護師は男性が少ない社会なので、これは女性の仕事とか男性の仕事とか分担はありません。今の若い人は対等な考え方をする方が多く、恵まれていると思います。